

# 市に1億円の寄付 「佐渡市 堀口基金条例」 を設置

昨年の12月に、旧小木町出身で千葉県在住の堀口智顕さんから、人間としての思いやり・正しさを根幹に、志を持って頑張る若者に対する支援を行い、それによって佐渡市の発展や、社会に貢献する人材育成事業のために役立ててほしいと、現金1億円の指定寄付がありました。

市では、ご厚志に対し深く感謝の意を表するとともに、寄付の趣旨に沿って有意義に活用を図りたいと考えています。



また、  
なお、寄付金は基金として積立てるために、昨年12月の佐渡市議会定例会において「佐渡市堀口基金条例」を設置し、平成20年度から、佐渡市堀口基金を活用して「がんばる若者支援事業」を実施する予定です。

キッチンからはじめるエコ

使用済み天ぷら油の回収にご協力ください！

次回の回収日は

1月26日(土) 午前8時30分～10時

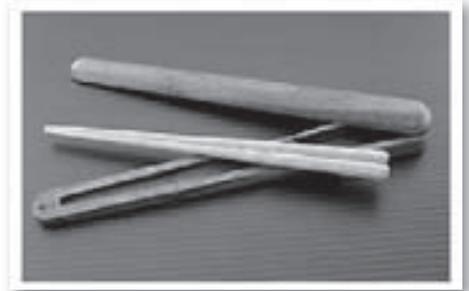
回収場所は市役所本庁・各支所です



## 「マイはし運動」を知っていますか？

普段何気なく使っている割りばしですが、日本人1人当たり年間約200膳も使っており、その量をA4の紙に換算すると約70枚になります。なかには間伐材や端材を利用した割りばしもありますが、中国から90パーセント以上も輸入しており、原料となる木材を伐採して調達されることが多く、森林破壊が進み地球温暖化の原因のひとつになっています。

今、自分用のはしを持ち歩き、少しでも割りばしの使用を減らす「マイはし運動」の取組みが各地で始まっています。



### 運動のポイント

- ・「マイはし」を持ち歩き、外食する時に割りばしを使わないようにする。
- ・お店などでできるだけ割りばしをもらわないようにする。

市民の皆さまも気軽に取り組むことができる「マイはし運動」をきっかけに、使い捨て製品の使用を控え、ごみの減量化、地球温暖化について考えてみませんか。



# 家庭での生ごみの減量化に取り組もう

燃えるごみの減量化と、生ごみを堆肥として利用することによって循環型社会づくりを推進するため、家庭内での生ごみの減量化に取り組みましょう。



## ■買い物の段階で食品を買い過ぎないように注意する

賞味期限切れで、手つかずのまま出される生ごみが増加傾向にあります。

## ■食べられる分だけ食事を用意する

つつい多めに作ってしまいがちですが、食べられる分だけの調理を心がけましょう。また、作りすぎた場合でもすぐに冷凍すれば、お弁当のおかずとしても利用できます。

## ■食材を無駄なく利用するエコクッキングに心がける

野菜の皮できんぴらを作るなど、食材を上手に使い切りましょう。

## ■生ごみを出す前に水切りをする

三角コーナー等を利用するなどして生ごみの水切りが重要です。



## ■生ごみを堆肥化する

市では、一般家庭を対象に生ごみの再生利用とごみの減量化を図るため、生ごみ処理機器の購入費用の一部を補助しています。

補助対象機器・補助額 消費税は補助対象外となります

### ○密閉型発酵容器 (EM処理機)

半額補助 (限度額4,000円) 1世帯2器まで

### ○地面設置型容器 (コンポスト)

半額補助 (限度額4,000円) 1世帯2器まで

### ○電動式生ごみ処理機

半額補助 (限度額30,000円) 1世帯1台まで



希望される方は、機器の購入前に市役所廃棄物対策課 (企画業務係) または各支所市民課 (市民生活係) へお問い合わせください。

まず第一に生ごみの発生抑制が大切で、それでも出る生ごみを各家庭で堆肥化するという順位付けが重要です。

◆お問い合わせ 市役所 廃棄物対策課 ☎63—5140

## 不法投棄ゼロシンポジウムを開催しました

佐渡市不法投棄監視員ネットワークと佐渡市では、不法投棄撲滅に向けた取組みとして、ボランティアで活動する「不法投棄撲滅リーダー」を募集し、就任された方を集め今後の方策を検討するため、11月25日(日)に、アミューズメント佐渡でシンポジウムを開催しました。

不法投棄の現状と対策を話し合い、「美しい島づくり」に何をすべきか熱心に検討されました。



ワークショップでの真剣なグループ討議



検討結果の発表

同ネットワークと市では、「不法投棄撲滅リーダー」を募集しています。詳細は、お問い合わせください。

### ◆お問い合わせ

佐渡市不法投棄監視員ネットワーク事務局 (安藤卓也)

☎52—6947

市役所 廃棄物対策課 ☎63—5140